

2024年10月8日

日本病院薬剤師会
会長 武田 泰生様

一般社団法人 くすりの適正使用協議会
理事長 俵木 登美子

オーバードーズ対処法啓発資材活用のお願いについて

拝啓 時下ますますご盛栄のこととお喜び申し上げます。

日頃より、一般社団法人くすりの適正使用協議会の活動にご理解、ご協力をいただき、厚く御礼申し上げます。

さて、近年、一般用医薬品や処方薬を目的外に大量に使用する、いわゆるオーバードーズをする若者が増加しています。厚生労働省研究班が2021年度に実施した高校生への調査結果では、過去1年間に市販薬を乱用した経験のある高校生は60人に1人と驚く結果でありました。また、その低年齢化が進んでいることも危惧されており、学校現場や関連団体からは具体的な対応策が求められています。

オーバードーズの一次予防として、子供たちへのくすり教育の重要性がますます高まっており、協議会としてはくすり教育の支援を一層強化していきたいと考えています。

さらに、今般、協議会では、医薬品のオーバードーズに陥ってしまった本人に対する二次予防として、精神保健の専門家に繋がることを促すことも重要と考え、日本大学薬学部と協働し、国立精神・神経医療研究センター 松本俊彦先生および厚生労働省に監修いただいて、本人とその周囲の関係者へ向けた啓発資材（別添）を作成し、協議会ホームページ (<https://www.rad-ar.or.jp/knowledge/post?slug=overdose>) で公開いたしました。

つきましては、病院において、例えば救急搬送される依存症患者及びその家族等への対応時などに本啓発資材をご活用いただけますよう、貴会会員への周知につきましてよろしくお願ひいたします。

敬具